

(様式 2)

「秋田大学学生海外短期研修支援事業」実施報告書(企画・引率者用)

平成 25 年 12 月 19 日

所属・職名：工学資源学研究科 地球資源学専攻・教授

氏名：今井 亮

研修期間：平成 25 年 7 月 19 日～平成 25 年 8 月 3 日

および平成 25 年 8 月 9 日～平成 25 年 8 月 24 日

研修先：英文 フィリピン大学, フィレックス鉱山ほか

: 和文 University of the Philippines, Philex Mining Corporation and others

○研修成果

フィリピン大学国立地質学研究所およびフィレックス鉱山の共同研究者の協力のもとで、パラワン島での希土類元素資源ポテンシャルに関する野外調査（氏原）、フィレックス社のパドカル鉱山のインターンシップと深部金鉱化帯の探査（米田）およびネグロス島の斑岩型銅ーモリブデン鉱床探査（斎藤）を実施し、鉱業国での資源探査における地質学鉱床学の役割を理解し、またそれぞれの卒業論文のための研究試料（岩石試料）を採取することができた。

しかしながら、計画していたもう 1 名（大学院修士課程の萩原）の研修予定であった TVI 社バラバグ鉱山のあるミンダナオ島ザンボアンガにおいて、反政府イスラム武装組織による市街地占拠事件が発生したために、萩原の研修は中止となった。

○研修全般にわたる感想

ミンダナオ島のイスラム勢力の影響下の地域における研修を計画していたが、反政府イスラム武装組織による市街地占拠事件が発生したために中止せざるを得なかった。海外への学生の派遣にあたり、安全の確保は最優先であるが、フィリピン大学の共同研究者、フィレックス社、TVI 社の探査技術者とは日頃から連絡を密にしており、現地の状況についてはリアルタイムで報告を受けていたために出発前に適切な判断を下すことができた。